

問題 4

以下の放物線について考える.

$$y = 2x^2 - 8x - 6 \quad (1)$$

まず (1) を式変形し, 頂点 A の座標を求める

$$\begin{aligned} y &= 2x^2 - 8x - 6 \\ &= 2(x^2 - 4x) - 6 \\ &= 2\{(x - 2)^2 - 4\} - 6 \\ &= 2(x - 2)^2 - 8 - 6 \\ &= 2(x - 2)^2 - 14 \end{aligned}$$

よって, 頂点の座標 A は,

$$A(2, -14)$$

となる. これが 1 番の答えとなる.

次に A を頂点として点 $(6, -10)$ を通る 2 次関数を求める. A を頂点とするので, ある定数 a を用いて, 求めるべき 2 次関数は次のように書ける.

$$y = a(x - 2)^2 - 14 \quad (2)$$

これが, 点 $(6, -10)$ を通るので, (2) 式に代入すると,

$$\begin{aligned} -10 &= a(6 - 2)^2 - 14 \\ -10 &= 16a - 14 \\ 16a &= 4 \\ a &= \frac{1}{4} \end{aligned}$$

よって, 求めるべき 2 次関数は,

$$y = \frac{1}{4}(x - 2)^2 - 14$$

となる. これが 2 番の答えである.

問題5

まず、2次関数の軸が $x = 3$ なので、求める関数は、ある定数 a, b を用いて

$$y = a(x - 3)^2 + b \quad (3)$$

と書ける。ここで、2点 $(-2, 0), (7, -18)$ を通るので、(3)に代入して、

$$\begin{cases} 0 = a(-2 - 3)^2 + b \\ -18 = a(7 - 3)^2 + b \end{cases}$$

これらを整理すると、以下の連立1次方程式を得る。

$$\begin{cases} 25a + b = 0 & (5a) \\ 16a + b = -18 & (5b) \end{cases}$$

式(5a) - (5b)を計算すれば、

$$18 = 9a$$

これを解いて、

$$a = 2$$

ここで出た、 $a = 2$ を(5a)に代入すれば、

$$b = -50$$

を得る。よって、求めるべき2次関数は

$$\begin{aligned} y &= 2(x - 3)^2 - 50 \\ &= 2x^2 - 12x - 32 \end{aligned}$$

である。これが1番の答えである。

次に2番を考える。2次関数は一般に定数 a, b, c を用いて、

$$y = ax^2 + bx + c$$

のように表せるので、これに3点の座標を代入して、未知定数 a, b, c を求めることにする。

$$\begin{cases} -15 = 4a - 2b + c & (6a) \\ 9 = a + b + c & (6b) \\ 15 = 9a + 3b + c & (6c) \end{cases}$$

式 $(6a) - (6b)$ を計算すれば,

$$a - b = -8 \quad (7)$$

式 $(6b) - (6c)$ を計算すれば,

$$4a + b = 3 \quad (8)$$

式 $(7) + (8)$ を計算すれば,

$$a = -1$$

(7) にこれを代入すれば,

$$b = 7$$

今, 得られた結果 $a = -1, b = 7$ を式 $(6b)$ に代入して c を求めると,

$$c = 3$$

以上をまとめて, 求めるべき 2 次関数は,

$$y = -x^2 + 7x + 3$$

となる. これが 2 番の答えである.

答えが出たら必ず与えられた点があることを確認すること. 以上.